



6/25 林芙美子に想いを馳せる 「あじさいき」

6月25日(日)、「あじさいき」が開催されました。尾道ゆかりの作家、林芙美子の命日である6月28日直近の日曜日に毎年行われています。本通り商店街入口の芙美子像前でフルートの演奏が行われ、訪れた人はアジサイの花を献花して芙美子に想いを馳せました。芙美子が生前好んでいたというアジサイの花で、芙美子像は華やかに彩られました。



7/8・9 第77回本因坊秀策囲碁まつり (第24回本因坊秀策杯)

江戸時代末期に活躍し、碁聖と呼ばれる本因坊秀策生誕の地・因島で、第77回本因坊秀策囲碁まつり(第24回本因坊秀策杯)が開催されました。本因坊秀策囲碁記念館の見学や前夜祭、プロ8人と五段格以上が参加した予選会で勝ち抜いたアマチュア8人によるトーナメント戦「本因坊秀策杯」や、全国からアマチュア囲碁愛好家が参加する「クラス別競技大会」、プロ棋士による「指導碁」等が行われました。



6/29 甘い香り みずみずしく 尾道特産「桃」最盛期

県内生産量の6割を占める尾道産「桃」の出荷が最盛期を迎え、JA尾道市東尾道選果場に、色鮮やかな早生品種「日川白鳳」「赤宝」「さくひめ」が次々と運びこまれました。JA職員たちが、色づき、形、重さにより丁寧に仕分けし、箱詰めしました。JA尾道市桃部会の山田 清部会長(72)は、「今年は収穫時期に雨が降ってないので、糖度が高い。大きく育ち出来がいい。香りを楽しんで食べてもらいたい。」と話していました。8月下旬まで「川中島白桃」などが県内市場に出荷されます。



7/22 涼やか水細工 水尾町の水祭り

江戸時代後期から伝わるとされる水祭りが、久保一丁目の水尾町通り一帯で開催されました。細い路地の奥まった場所にある熊野権現神社では、巫女さんが舞をまい、神事が営まれました。水祭りは、神社の前に湧く井戸、「水尾井」に感謝するため地域住民が始めた祭礼です。戦時中途絶えてしまった後、地元の皆さんによって復活し、大切に受け継がれてきました。手作りの水細工が展示され、金魚すくいやかき氷、くずきりなどの屋台も並び、涼しさを求める多くの人で賑わいました。